

# 田中研新聞

第27号

2015年  
11月1日発行

2015年11月1日号

甲南大学知能情報学部田中研究室 毎月発行  
http://carnation.is.konan-u.ac.jp  
編集長：岡田 航大 (B4)  
編集委員：吉岡 一樹 (M2)

# 秋のオープンキャンパスでシステム展示

今年のオープンキャンパスの最後となるイベントが10月25日(日)、開催された。午前中甲南高校の生徒を対象とする学部説明会が開かれ、午後、通常のオープンキャンパスが開かれた。知能情報学部としては、学部紹介、関先生の体験講義(Processing)、永田先生の英文ライティング学習支援システム、個別相談、KORO、来場者カウンタ、漫才ロボットの公開を行った。KOROは今回、新しいボディでの本格的なデモとなり、当研究室の学生諸君6名と、和田先生、それに田中が実施に当たった。



来場者カウンタは、もうかなり慣れ、設置も15分ほどで済むほどになった。カウンタ数は200名を超えた。今回は、午前中は甲南高校だけだったので少なく、午後には集中した。出た人の数を見ると、結構2時台、3時台も多く、夏のオープンキャンパスに比べて長時間滞在された方が多かったことがわかる。来場者カウンタは、設置の際にまだ人任せにできないが、人が来る前に出し、帰ったあとに片付けないと意味がないことから、長時間拘束される。私自身、何のためにやっているのかわからなくなることもあるが、こういうときでないとは本格的な実験はできないし、KSCの人にも全面的に気持ちよく手伝っていただけると、何よりも、こういうときのために作ったものだから、と考えると、自ずからやらなければという気持ちにな

る。 KOROについては、自分自身が作っていないので、自分の思いと学生の行動が一致しないときにはもどかしく感じるときがあるが、それでも、イベントの日が近づき、学生諸君がやる気を出して、長時間、一生懸命にやっているところを見ると、教員冥利に尽きる。卒業生である、大野君、野々口君、井上さん、細田君が見学に来てくれて、同窓会のような状況を

呈した。 ロボット学プロジェクトで展開している来場者カウンタ、KORO、そして、これからプログラム開発を行うライニングコモンズビュア、ラジオ体操探点システム(これのみ来年度からプロジェクトに参入)は、いずれも、大学のために貢献するもの設備のようなものであるが、元はといえば、研究の興味があつたから始めたものである。こういう、非常に実際のテーマをや

つていくことになるとは、10年前頃までは思いもよらなかったことであるが、今や、私の生涯の最大のテーマとなつている。応用をするからこそやる意味があるという私の研究に対する考え方も、実際にこういうことを進めてきて身につけた哲学である。学生諸君と一緒に、これらのシステム作りさらに専念したいと考えている。(田中雅博)

## 吉岡一樹

10月25日のオープンキャンパスの感想です。まず午前中の屋外についてですが、石原君の「散歩」と僕の「追跡」システム二つのデモを行いました。オープンキャンパス開始の11時からKOROを動かしているのと、周囲にいた甲南高校生が「何あれ」「ロボットおもしろい」と興味を持ってくれました。追跡システムのデモを行うと周囲の人が通りすがりに「すげえ人追いかけている」「どうなってるん」など言っていました。12時になり人通りが多くなってきたので石原君の散歩システムに交代してデモを行いました。KOROの目の前に立つとKOROがあいさつするシステムです。人通りが多いほどKOROが人にあいさつし人目を引いていました。午前のデモに関しては自分のイメージしたレベルでデモを行えたと思います。

午後の屋内のデモですが、主に松田君の「図書館案内」をKOROが行い、岡田君の「計算ゲーム」、栗岡君の「クイズゲーム」、須谷君の「図書館体操」を交代しながらデモを行いました。図書館案内はKinectを使用し、使用者の動作に合わせて次の画面や動画の再生などを選択するシステムです。計算ゲームは参加者が任意に組んだ数式をKOROが認識し、計算を行います。クイズゲームはKinectを使用し、参加者の解答を判定し、ゲームを行います。図書館

体操はKOROが指定したポーズを参加者ができているのかKinectを使用して判定し、ストレッチを行うシステムです。屋内のデモもそれぞれのシステムを参加者の方に体験してもらいました。それぞれのシステムでバグや落ちることがありましたが、見せられる範囲までできたと思えますので一応成功と言えるところで終わることができたと思います。

オープンキャンパスが終了して色々大変でしたが、オープンキャンパスを通じて甲南やKOROのPRが出来たと思います。また今後のKOROに関して改良を加えて良いものにしていきたいです。

## 須谷章宣

今回のOCではKOROの一般向けに初のお披露目ということで、KOROを見に来場されたお客様も少なくなく、KOROプロジェクトとして大変良い出だしだと感じられました。KOROのプログラム自体も皆完成度が良く、今後KOROは図書館に在中することになります。その際にも図書館を利用していただいている学生さんや近隣の皆さまにお見せしても楽しんでもらえることでしょうか。今後KOROプロジェクトにおいて開く1人としてKOROの機能を発展させオープンキャンパスなどで皆様にKOROを知ってもらいたいと考えております。

今回のオープンキャンパスでは、夏と違い屋内で計算システムを動かすことになりました。画像を扱うのが大きく、リハールの段階でも調整不足で、リハールが終わった後に時間が許す限り調整をしました。それでも当日は正直気が気じゃなく、前日なかなか寝付けませんでした。そんな心配とは裏腹に、始まってみると案外いい反応をもらえたりしたのは嬉しかったです。

準備の時に図書館の中や外で実験していると、最初は「なんだあれは」という声に自分たちで「これはKORO」と返しましたが、日に日に「なんだあれは」という生徒に対してその友達が「あれはKORO」という会話がぼつぼつ聞こえて、学内の知名度が少しづつ上がっているのを感じました。

## 石原史也

田中研究室4回生の石原です。今回のオープンキャンパスでは私たちのこれまでの研究成果が試される場所でもあったので、この日のために、より良いものが

できるような取り組みができた。今回私が行ったデモンストレーションは、KOROを自由にぶらつかせて人を目の前で見ると挨拶をしてくれるというものです。ロボットが自動で動いて、人に挨拶してくれるという点に来場者の方々はとても喜んでくれました。小さい子供もいて、最初は怖がっていましたが、自由に動き回るKOROとふれあう内に一緒に走り回り遊んでもらえ、少しずつ興味を持ってもらうことができました。

オープンキャンパスに来てくださった来場者の方にはとても興味をもってもらえ、反響もよかったです。私も楽しみながデモンストレーションをすることができました。

## 栗岡亮太

私は10月25日に行われたオープンキャンパスでKinectを用いたクイズゲームのデモを行いました。以前行った一度目のオープンキャンパスから問題の解答方法を大幅に変更し屋外から室内用のシステムに移行しました。デモの内容についてですが前回は解答者の方にOとXのスペースを移動して貰い解答を決定するという形でしたが、今回は問題の解答にKinectを使用し手をOとXの該当する座標に移動させることで解答するという形で行いました。それ以外は概ね前回と同様のシステムで行いました。今回は松田君の図書館案内と連動が間に合わずオープンキャンパス本番でデモを行う機会が非常に少なく残念でした。まだまだ未完成の部分が多く今回はなんとかクイズを行うことができたという状態であったため改修を急いでいきたいと思っています。

## 岡田航大

今回のオープンキャンパスでは、夏と違い屋内で計算システムを動かすことになりました。画像を扱うのが大きく、リハールの段階でも調整不足で、リハールが終わった後に時間が許す限り調整をしました。それでも当日は正直気が気じゃなく、前日なかなか寝付けませんでした。そんな心配とは裏腹に、始まってみると案外いい反応をもらえたりしたのは嬉しかったです。

準備の時に図書館の中や外で実験していると、最初は「なんだあれは」という声に自分たちで「これはKORO」と返しましたが、日に日に「なんだあれは」という生徒に対してその友達が「あれはKORO」という会話がぼつぼつ聞こえて、学内の知名度が少しづつ上がっているのを感じました。

## 松田直樹

今回のオープンキャンパスも、私は図書館案内システムを展示しました。今回は前回と違い、他の研究生のシステムも図書館に展示しました。システムの内容は各々の記事を見てください。私のシステムの変更点は見やすくなったことです。手の位置を円で表示していたのを手のイラストを表示するようにしたり、デザインを変更したりしました。前回の反省からシステムがダウンしないように改良したつもりでしたが今回もシステムが一度ダウンしてしまいました。早急に原因を説明し図書館に常に表示するようにしたいです。



# 3回生歓迎会

## 7人が田中研究室に配属

今年、田中研究室に7人の3回生が入ってきてくれました。それを祝って10月7日に3回生の歓迎会を行いました。

歓迎会では初めて会う4回生もいたことで緊張も見られましたが、すぐに場に馴染むことができ積極的に

4回生や院生に話しかけてくることも増えていました。3回生どうしもお互いに仲良くなっている様子も聞かれました。これから取り組んでいくであろう研究や勉強にも意欲的にとらえており、自分のやりたい研究な

ど考えている人がたくさんいるようでした。3回生と4回生の初顔合わせになりお互いまだ遠慮や緊張が残りましたが、新田中研究室として、よい出発になりこれからも楽しんでまいります。(石原史也)

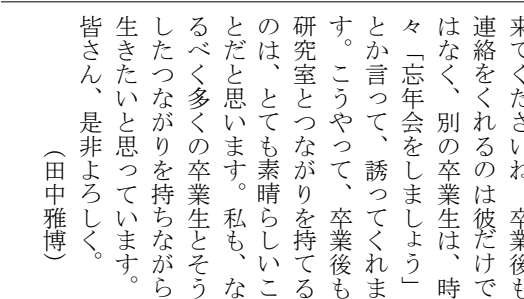


## OB塚原君、カップヌードルを大量寄贈!

田中研究室のOBである、日清食品の塚原亮介君が、このほどカップヌードルをなんと60個も送ってくれました。これは、彼の勤める日清食品が毎年、カップヌードルの誕生日(9月18日)にあわせてイベントをやっている、今年「U-37日清代表先遣面して

に1, 2個渡しており、KORoでお世話になっている図書館にも1箱20個寄贈しましたが、まだ少々余りがあります。これで、多くの学生や職員がさらにカップヌードルのファンになったものと思います。

塚原君は、卒業後も時々顔を出してくれていて、毎年賀状もくれる、大変印象深い学生の一人です。この新聞読んでいたら、また来てくださいね。卒業後も連絡をくれるのは彼だけではなく、別の卒業生は、時々「忘年会をしましょう」とか言って、誘ってくれます。こうやって、卒業後も研究室とつながりを持っているのは、とても素晴らしいことだと思います。私も、なるべく多くの卒業生とそうしたつながりを持ちながら生きていきたいと思います。(田中雅博)



## 気になる便利グッズ

### 第6回ミラキャスト製品

第一回目から5回目まではすべて購入してよかった製品を紹介してきた。今回は純粋に私が気に入っている商品を記事にしている。それはミラキャスト製品だ。ミラキャスト製品というのは、モニタの端子に機械を取り付け、スマートフォンやタブレット、PCなどの画面をワイヤレスでモニタに映すもので、Chromecastなどが多く利用されている。利用が広がっているのはいくつか理由があり、一番はやはりスマートフォンの普及で、画面の小ささに不満を持っている人が多いところにある。YouTubeなどの動画サイトにはスマホの画面では見た気がしない層が

多いのだろう。私もどちらかというとそのタイプで、パソコンでアニメやドラマの配信サービスを利用することもあるが、結局内容が全然入ってこない。もう一つ私が気に入ったのは、このミラキャストを使うところだ。拡張できるなら机回りのケーブルを一気に削減できるし、持ち運びも簡単なので、ホテルなどの宿泊先のテレビを拡張モニタとして利用できる。タブレットの画面などを拡張できれば、ノートパソコンをわざわざ宿泊先に持ち運ぶ必要もなくなるので、荷物も軽くなる。私がこういう製品に興味を持ったのは研究室の機材のWiviaから

らで、ワイヤレスでもあそこまで映像をきれいに遅延なく映せるところに魅力を感じたからだ。しかしWiviaは非常に高いので、個人で持つにはさすがに厳しい。多少機能が悪くてもいいので安価なものを探さことにした。

どの製品が優れているのがまだわからないが、色々と調べているとマイクロソフトが出しているミラキャスト製品が非常にWindowsと相性が良く(当たり前)評判が高い。逆にChromecastなどはAndroidにしか対応しておらず、Windowsタブレットの拡張はできない。もっと安価なものはないかと調べていると生協で3千円以下のものがあつたので、気になって調べてみると、それもAndroidのみ

とがわかった。貯金と計算して、次の給料日にでも購入してみようかと考えている。(岡田航大)



研究室対外予定  
11月7日(土) 田中教授、「いきいきシニアライフ」(JR神戸駅まえイベント会場)にて、ラジオ体操バトル(ステージ)出演。  
11月上旬 KORoを図書館入り口に常駐予定。11月28日(土) 宝塚甲南会がKORoを見学。

## 編集後記

田中研究室的には10月はイベントで盛り盛りで、今回の新聞はとていもないのが出来上がっているのではないかと思います。オープンキャンパスが終わり、一息つけるかなと思いきや、もう卒論の発表会まで3カ月程しかなく、軽く絶望しています。

10月は毎年楽しみにしているドラフト会議があり、今年もオープンキャンパス終了後に、最優秀選手の指名選手の映像をチェックしました。実はドラフトの終了日は毎年ほぼ徹夜で映像をチェックし、選手の寸評を野球が好きなお友達に話すが習慣になっていきましたが、今年オープンキャンパスがあつたので、当日にはできませんでした。ドラフト1位の選手は偶然にも私と同じ苗字の「岡田」選手でした。せっかくなのでユニフォームを購入しようと思つています。ユニフォーム絡みだと、初めて買ったユニフォームの選手が今年自由契約になってしまいました。引退するので、新天地でも応援!というわけにもいきませんでした。これから世界的には寒いといわれる季節ですが、寒さにはめっぽう強い私としてはこれからは涼しい季節になるので、とても嬉しいです。(岡田航大)